



やはり来てくれました

学 園 長 小 島 澄 人

年賀状に引っ越しました、とありましたのでもう来ないと思っていました。毎朝門で子どもたちを迎えていると、時折あめ玉を差し入れしてくれる方がいましたが、しばらく来ないなあ、寂しい思いをしていました。私が30歳ぐらいに、地域の混成合唱団に入り下手な歌でも頑張ろうとその気にさせてくれた、少ない男性メンバーの1人でした。わざわざ通勤途中の車を門に寄せて手渡ししてくれました。長年本当に有り難かった。来ました、来ました。遠くから来てくれました。「風邪引くなよ」、のど飴であいた。

先日子どもたちの誕生会の際、「寒いこの時期、一番嬉しいのは、朝の5、10分の布団の暖かいぬくもりにじっとしてることなんだ」、「さて問題！ 園長先生が大好きで一年中あったかいものはなあんだ？」。質問が悪かったようで、思う回答は出ませんでした。回答は「人のあったかさ」でした。やさしさ、思いやり、あったかさ、それが行動であっても言葉であっても、また優しい眼差しであっても、嬉しい限りです。幼少時にこの「やさしさ」が、子どもたちに自然に満ちていてほしい、そう願うばかりです。寒いこの時期ばかりで無く、いつもあったかさを感じ、励まされ、頑張り、幸せに過ごしたい、そう思う私たちです。

今朝(1月27日)、スポーツ新聞はこの記事満載！「泣いた 笑った 幕尻 徳勝龍」。大相撲で、幕尻の徳勝龍が優勝しました。長年お餅つきに来てくれる「木瀬部屋」、勿論本人も来てくれましたが、部屋での稽古、ちゃんこを共にしたことがある部屋でしたので、急遽書くことにしました。また今年度来てくれた「宇良」、下ではあるが優勝しました。お餅つきの時、一緒に搗いたり相撲をとったりしたお相撲さんが、男泣きしている姿が映像で流れている、嬉しい限りです。柿の実ばかりで無く、今年度は玉川中央にも来ていただいたが、来年は夢の森にも是非、そう思いました。子どもたち全員と触れあい、お相撲をしてくれる、丸一日いてくれる、だから優勝者がでないのかなあ、申し訳ない、いろいろ思っていました。稽古、稽古の時間を割いてばかりで申し訳ないという思いと、感謝の思いで一杯です。特に柿の実では1000人の子どもたちとお相撲をしてくれる、有り難かった。以前はあの「白鵬関」が、なんと8年連続来てくれました、横綱になっても2年、本当に有り難かった。ますますの、これからも頑張っていたきたい。来年度のお餅つきが楽しみになりました。

